

有田市コミュニティ・スクール連絡協議会（令和3年度第3回）

市内各校の運営協議会会長及び（市）教育委員会、（市）校長会代表が出席し、コミュニティ・スクールの取組の充実に向けての協議がなされました。

協議会では、今年度の各校の運営協議会開催状況を交流し、来年度に向けての協議を行いました。協議では、主に次のような意見が出されました。

- ・学校運営協議会では、「熟議」（しっかり話し合うこと）が何より大事である。
- ・学校運営協議会の仕組みや役割を広く周知し、学校と地域のつながりをより深めていきたい。
- ・「どんな子供に育てたいか」を明確にし、学校と地域で共有していきたい。
- ・安全に対する子供の意識を高める取組を地域との関わりの中で考えていきたい。
- ・十分に感染症対策を行いながら、積極的に学校や地域との関わりを深めていきたい。

初島中学校に対する地域・保護者のご協力に感謝いたします。

令和4年3月、有田市立初島中学校が75年の歴史の幕を閉じました。

昭和22年に、海草郡^{はじかみ}椒^{はじかみ}村立椒^{はじかみ}中学校として開校して以来、地域の皆様のご支援、ご協力のもと、地域とともにある学校を目指して教育活動に取り組んでまいりました。その間、実に4,440名もの生徒がこの学び舎を巣立っていきました。令和3年度末での閉校決定をうけて、初島小中学校・学校運営協議会では、学校（生徒・保護者・職員）と地域住民、卒業生との協働で初島中学校の思い出を振り返り、地域の皆様で感謝の気持ちを伝え合いたいと「閉校記念行事実行委員会」を組織し、様々な取組を行いました。以下に、主な取組をご紹介します。

○ 閉校記念誌「足あと」の刊行

自治会等を中心に地域の皆様にご協力いただき、希望される方々にお配りしました。

○ 「ホーム カミングデー」の開催

同窓会・同窓生を中心にご協力いただき、令和3年1月の土日、4日間、開催しました。

当日は、親子で、また久しぶりに再会した同級生同士で来校し、学校での思い出を語り合ったり、レクリエーションを楽しんだりしながら交流を深めました。

○ 閉校記念モニュメントの設置

モニュメントの表面には校歌を記し、裏面には、地域の方のご指導、協力を得ながら、全在校生が自作したタイル（各自のメッセージ）を貼り付けました。校舎の北側に設置しています。

○ 閉校式での「初中ソーラン」の演舞

生徒全員で最後の「初中ソーラン」を披露しました。



ホーム カミングデー



モニュメント



閉校式